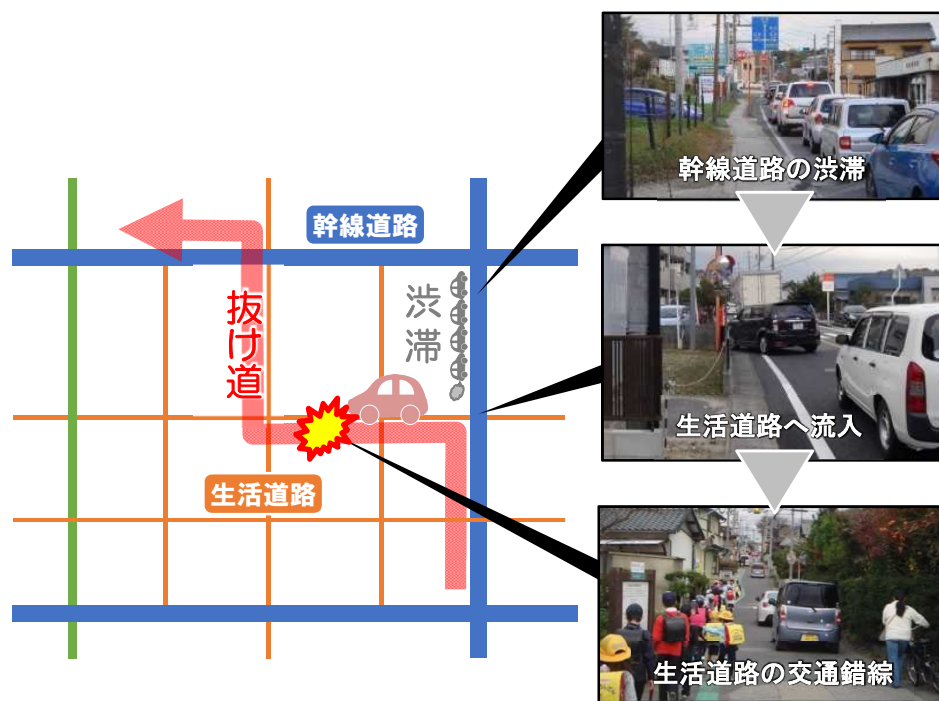


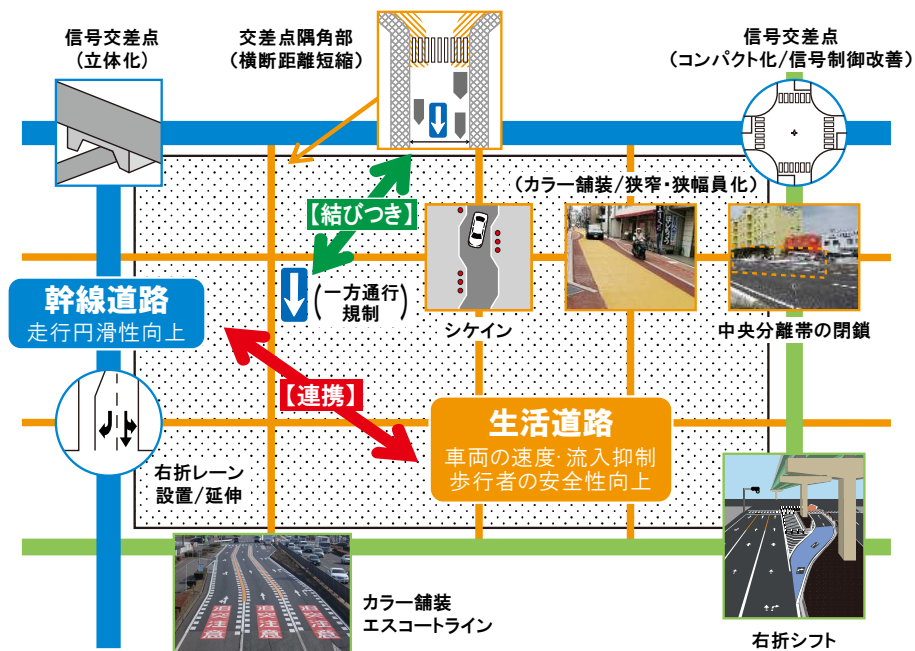
■ 幹線道路も含めた「包括的対策」が効果を高める

特定箇所(交差点)や小規模エリアを対象とした局所的対策を実施してきましたが、幹線道路混雑時の抜け道利用に伴う生活道路の安全性低下など交通課題が残されています。

自動車の走行性を重視する幹線道路と、地域の人々が通勤・通学などで利用する生活道路の区別をより明確にした上で、安全性や円滑性を考慮した面的な交通事故対策を包括的に実施することが重要です。



<図 抜け道利用に伴う交通課題>



<図 包括的交通安全対策の実施イメージ>